

岐阜市ゼロカーボン市民懇談会 2.0

第1回 気候変動の現状と課題

令和8年9月5日(土) 9時30分～12時30分

参加者：43名（無作為抽出参加者35名、令和7年度参加者8名）

進行：神田浩史(NPO 法人ぎふ NPO センター 理事)

・はじめに：浅野 恭一(岐阜市ゼロカーボンシティ推進課長)

●岐阜市ゼロカーボン市民懇談会 2.0 の意義

●「消費行動」や「移動手段」などの場面を想定し、市民懇談会で出た意見やアイデアをもとに岐阜市の施策として取り組めるよう検討していきたい
などが語られました。

・全4回の予定と進め方：神田浩史(NPO 法人ぎふ NPO センター理事)

●岐阜市ゼロカーボン市民懇談会 2.0 の予定や進め方について説明しました。



・参加者自己紹介

参加者同士で、「参加の動機」や「市民懇談会への期待」を話しました。

・講演：江守正多氏(東京大学未来ビジョン研究センター教授)

「気候変動の現状と将来課題」

●地球温暖化と人間活動による温室効果ガスの排出量の関係

●動画「2050年の天気予報 このまま行くと日本の夏はどうなる？」の紹介

- 温室効果ガスをほとんど排出していない国々が申告な被害を受けやすい
- 後から生まれてくる世代ほど、より高温で深刻な被害が出た地球で生きていかなければならない
- 世界のエネルギー転換の「良いニュース」：新設電源の主流が再生可能エネルギーへ移行している
- 温室効果ガス排出量の減少に向けた社会の「仕組みの変化」が重要などが語られました。

・岐阜市から情報提供

岐阜市の脱炭素について～岐阜市ゼロカーボンシティ宣言の目指すもの～
岐阜市の脱炭素の施策について～ 本懇談会での中心的な討議テーマ ～

- 岐阜市の二酸化炭素排出構成は「民生家庭部門」と「運輸部門」が多い
- 脱炭素に向けた岐阜市の取り組みの紹介
- 岐阜市は 2023 年 5 月にゼロカーボンシティ宣言を行った
- ゼロカーボン市民懇談会 2.0 で話したいことなどの情報提供が行われました。

最後に江守講師からコメントをもらい、第1回を終了しました。



次回から本格的にアクションプランの作成に取り組めます。